

生命をつなぐ・世代をつなぐ 医療をつなぐ診療支援システム

～ 女性が輝きつづける社会のために ～

株式会社シンフォニア



～女性が輝きつづける社会のために私たちができること～

- 産婦人科の医療を通して、妊娠・出産に直面する妊産婦様へ出産への希望や幸福感を追求できる支援を行います。
- 不妊治療に臨む方へ、より深い理解と治療に前向きに臨める支援を行います。
- 核家族化する社会の中で、出産・育児に悩むお母さんへの早期支援に着手できる仕組みを作ります。

当社開発の産婦人科向け診療支援システム「Eveforma」(イブフォーマ)

機能2 ▶

児体重 & 母体重グラフ

[児体重記録]

〈画面イメージ: EveformaNeo〉



赤ちゃんの成長を
グラフ化

[BMIと母体の変化]

〈画面イメージ: EveformaNeo〉



お母さんの体重を
グラフ化

女性が見ることに着目
色味・デザインにも
こだわりを持ちました

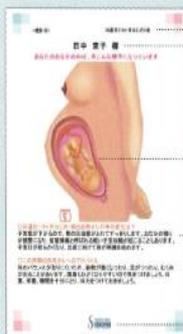
▶ 入力された健診結果は、患者説明用として瞬時にグラフ化されます。児体重計算是東大式・阪大式・日超医式から選択可能。

▶ 母体重はBMIグラフとイラストで表示されます。胎児の向き(6パターン)も反映され、アドバイスしやすくなります。

機能3 ▶

ママ & ベビーカード

[ママカードイメージ]



予定日入力で
妊娠週数も自動計算

お名前印字

赤ちゃんの向きを反映

妊娠週数に合わせた
説明コメント

貴院ロゴマーク

[カードアルバムイメージ]



▶ オリジナルアルバムの制作も可能です。貴院のブランド作りにお役立てください。

健診ごとにカードにして
成長アルバムを作成

成長を見守ることで妊娠・出産に前向きになり、より充実した幸福感を感じることができます

診療支援システムEveforma（イブフォーマ）

妊婦健診時の、赤ちゃんの成長やお母さんの身体の変化を可視化、妊娠時における不安感を解消し赤ちゃんの成長を見守ることで、より充実した幸福感を感じることができるよう仕様となっています。日本国内150院以上の産婦人科クリニックへ導入しています。

女性が輝きつづける社会のために

システムの改良を行います

- ① 電子カルテとの連携機能追加
- ② 不妊治療に関する症例の追加
- ③ EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票）テスト機能搭載

① 電子カルテとの連携機能追加

電子カルテとの連携機能を搭載することで、カルテ内の診療情報の可視化が可能に、また、診療説明の時間短縮により、妊産婦や患者様の時間的制約を軽減するとともに、医療従事者の負担も軽減可能となります。

② 不妊治療に関する症例の追加

妊娠を望む女性の3人に1人が不妊治療を受けているとされています。解明されていない点も多く、精神的苦痛や経済的負担も伴うため治療からの離脱や治療にかかる時間的負担のための離職も多く見られます。原因や治療方法をイラストや動画で可視化することで、より理解を深め前向きに治療に取り組むための支援を行います。

③ EPDS(エジンバラうつ病質問票) テスト機能搭載

EPDSは産後うつ病のスクリーニング票として英国で開発されました。出産前後は、ホルモンバランスの乱れや生活の変化に対する不安感や疲労感から、情緒不安定に陥ることも少なくありません。このような症状の早期発見につなげるため、健診時に実施できるように搭載します。点数も自動計算される設計とし、医療従事者の負担も軽減されます。

Eveforma導入によってもたらされる

- ① 妊産婦のQOL向上
- ② 医療従事者の負担軽減

上記2点を以下の観点から効果の測定を行います。

◎ **導入院数の増加（定量的指標）**

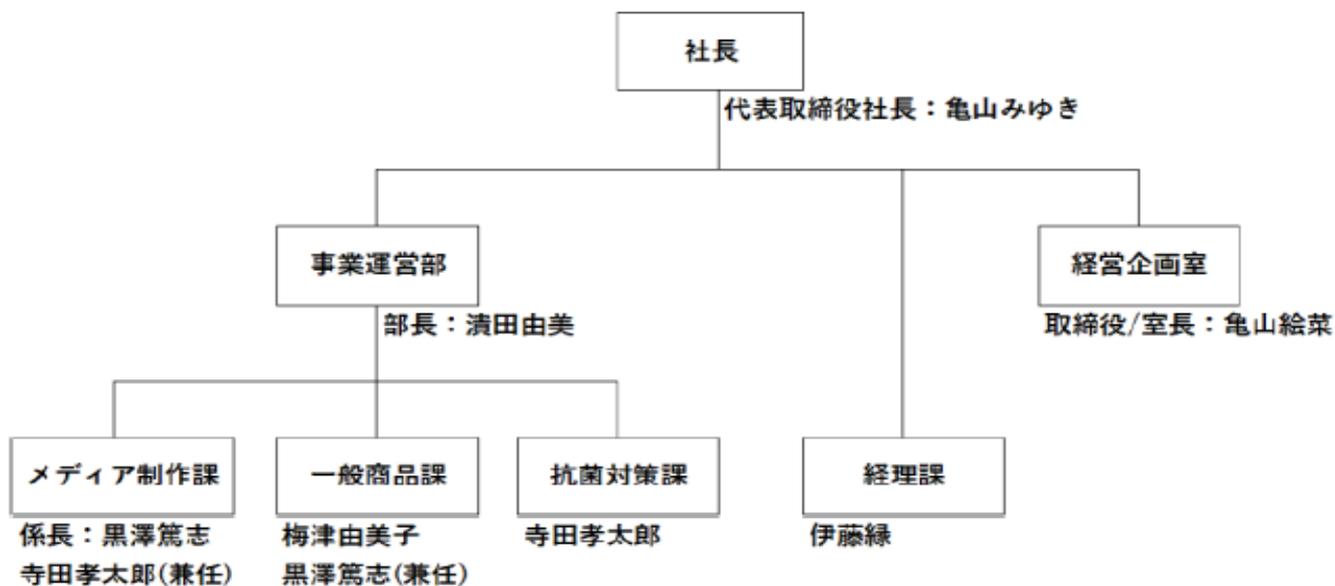
弊社クライアント産婦人科約150院で既存システムを導入済
本事業では、約3割の50院のアップデート促進を図ります。
また、10院の産婦人科へ新規のEveformaの試験導入を目指します。

◎ **システム導入による健診や診療への影響度（定性的指標）**

下記項目に関して導入院へのアンケートを定例的に行い
効果の検証を行います。

- ・ Eveforma導入後の健診内容
 - // 健診時間
 - // 妊産婦さま・患者さまへの反響
 - // 症例説明等の伝わりやすさ
 - // EPDS問票機能の使用頻度
 - // 医療従事者の負担軽減

1. 実施体制



2. 実施スケジュール

内容	実施者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
システム設計	絵菜室長、黒澤係長	→											
システム作成	外注業者		→										
システム検証	黒澤係長、寺田		→										
広告宣伝活動	絵菜室長、濱田部長		→										
効果測定 改良作業	絵菜室長、濱田部長 黒澤係長、寺田							→	→	→	→	→	→

本事業終了後の展開計画

- ① 産婦人科に特化して構築してきた診療支援システムの**他診療科へも展開**します。
- ② 他診療科医への拡大と並行して、**スマートフォンのアプリと連携**させることで**診療情報の閲覧を院外でも可能**なものとし、家族間でも共有可能なものとなり、治療内容への理解やモチベーションアップにつなげます。
- ③ **クラウドシステムなどを利用して、地域内のクリニック等での情報の共有化**ができるシステムを構築することにより、**正確な診療情報の取得、診療や検査にかかる時間の短縮**を図ります。患者様だけでなく、**医療従事者の方の負担**も軽減します。

医療をつなぐことで、社会全体の
ウェルビーイングに寄与します。

